

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2025年11月14日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	中谷興運株式会社
所在地	〒712-8071 岡山県倉敷市水島海岸通二丁目1番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 中谷 庄吾
担当者連絡先	電話：086-444-4311 メール：soumu@nakatani.co.jp
ウェブサイトURL	<a href="https://koun.nakatani-grp.com/">https://koun.nakatani-grp.com/</a>

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

- 岡山県下における国際海上コンテナ輸出入業務のパイオニア企業です。
- 港湾運送事業を中心に倉庫、梱包、製造、介護施設運営まで、多岐にわたる事業を展開しています。
- 創業以来の社は「和と誠実」のもと、人と人とのつながりを大切にすることでお客様との確かな信頼関係を構築するとともに、創意工夫のチャレンジ精神から生まれる発想や想像力を原動力に、新分野へ挑戦し続けています。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	ワークライフバランス、女性の活躍推進に資する雇用環境の整備	・社員に占める女性の割合の向上 現状：24.8%（2025年3月末） 目標：25.5%以上（2026年3月末）
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然災害等に備え事業継続計画（BCP）を整備・運用し、従業員の安全確保と事業の早期復旧を図る。	・安否確認訓練の実施 (目標：2回以上/年) ・備蓄品の見直し（目標：1回以上/年） ・計画書等の定期的な見直し（目標：1回/年）
✓環境 ✓社会 □経済	地元企業、地域団体との連携強化と社会貢献活動への参加	・社会貢献活動への参加 (目標：2回以上/年)

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・ハラスメント防止規程に明記し、相談窓口を労務部に設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント防止規程を定め全社へ周知している。 ・顧問社労士によるハラスメント防止研修を毎年開催している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・勤怠管理システムにて時間外・休日労働を把握している。 ・労務部より各部門へ勤務実績を毎月配信し、長時間労働防止に努めている								8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・毎年「安全衛生方針」を定め全社へ周知している。 ・安全衛生管理組織を中心に、全社で安全への取組を行っている。		3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・全社員を対象にストレスチェックを2016年より毎年実施している。 ・高ストレス者に対し、産業医の面談を推奨している。		3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性活躍推進や高齢者、外国人、障害者雇用を積極的に推進。 ・育児短時間勤務制度の範囲拡大(小学校卒業まで)をはじめ多様な働き方に対応できる職場環境と制度を整備している。 ・岡山県より「おかやま子育て応援宣言企業アドバンス企業」認定			5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・各担当業務に必要な免許・資格の取得支援のほか、勤続年数や年代毎に幅広い階層別教育を実施している。			4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・雇用形態によって不合理な待遇差が生じないよう、同一労働同一賃金ガイドラインに基づき、社内諸規則の総点検と整備を実施している。				5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」認定(2020年以降、継続して認定)		3						8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・社内電子決裁システムの導入により、ペーパーレス・脱ハンコを推進している。										11.6 12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・岡山県の「おかやまCOOL CHOICE ! 宣言」に参加。クールビズ・ウォームビズを通して節電等を推進している。							7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・燃料・ガス・電気使用量等から温室効果ガス排出量を把握している。						7.2 7.3				###	13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・特定化学物質、有機溶剤の特殊健康診断を2回/年受診している。		3.9			6.3				11.6 12.4							

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・コンテナ輸送時の貨物液漏れによる水質汚染防止に努めている。						6.6									15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・太陽光発電設備(年間発電量:約1,300kWh)の稼働により、年間72kg相当のCO2排出量を削減している。						7.2					13						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・名刺やコピー用紙に再生紙を優先的に使用している。											12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・「Gマーク(貨物自動車運送事業安全性評価)」の認定を受けており、トラック運送事業として安全性向上のため環境整備している。 ・国土交通省「ホワイト物流」推進運動に参加し、物流の改善に取り組んでいる。		3.9									12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9									
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・グリーンボンド(環境分野への取組みや感染症拡大防止の資金調達のための債権)へ投資している。				6							12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・毎年海の日に開催される「水島港清掃活動」をはじめ、地域の清掃活動に積極的に取り組んでいる。				4						11			14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外商)している								8	9		11	12	13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している									8	9							17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・地元警察署より講師を招聘し、暴力団対策・法令順守・振り込め詐欺防止に係る講習会を開催、コンプライアンス意識と知識の向上に努めている。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・2024年コンプライアンスオフィサーを設置。 法令順守に努めている。																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・NPO法人等のアジア各地域への寄贈活動に際し、自転車や車椅子の陸上輸送を無償提供するなど、積極的な社会貢献活動 ・西日本豪雨災害における当社のボランティア活動に対し、倉敷市社会福祉協議会より感謝状(2019年)																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・2020から事業継続計画(BCP)を継続して活動中。									9	11	13					16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

#### 【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したもので、個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。